

学習指導案(教科:現代文)

1 授業内容

科目:現代文

単元:羅生門(芥川龍之介)

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標:

- ・小説に描かれている登場人物の心情や情景などを、読み味わう。
- ・場面の展開に即して、登場人物の心情の変化について考えよう。

(2) 本時の目標:【全8時間展開・本時は2時間目】

- ・小説の基本設定を読解する。
- ・個々の表現を具体的イメージに結びつけて読み取る。
- ・「下人」の内面について考える。
- ・第一段落を読解する。

(3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度)教材に関心を持って、文章の内容を的確に読み取ろうとしている。

(知識・理解)「羅生門」について、基本的な知識を身につけている。

(思考・判断・表現)小説の舞台を的確に読み取っている。「下人」の悩みの内容を理解し、説明することができる。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	・前時の内容の復習をする。 ・本時の目標・学習内容の提示	・前時の内容の確認をする。 ・本時の目標・学習内容を確認する。 ・本文を音読する。	評価【関心・意欲・態度】 音読に積極的に取り組んでいる。
展開 (35分)	・段落分けを行う ・小説の基本設定を理解する。 ・個々の表現を具体的イメージに結びつけて読み取る。 ・第一段落を読んで、「下人」の内面について考える。	・本文全体を四つの意味段落に分ける。 ・資料を手がかりに、小説の題名であり、舞台である「羅生門」についてイメージをつかみ、まとめる。 →EX-wordの便覧・国語辞書で確認し、配布したワークシートに記入し、まとめる。 [ICT活用] ・「作者」の説明に従って、「下人」の内面の状態を具体的に読み取り、まとめる。 →ワークシートの配布・提出機能を使用し、協働学習をする。 [ICT活用]	・場面の変化に注意させる。 評価【思考・判断・表現】 内容に即して段落を分ける。 ・物語の時代・季節・登場人物・場所などを確認する。 評価【知識・理解】 「羅生門」について、基本的な知識を身につけている。 ・下人の心情と情景描写が連動していることに気付かせる。 評価【思考・判断・表現】 第一段落を読んで、「下人」の悩みの内容を理解し、表現することができる。
まとめ (5分)	・「下人」についての意見を交換し、本時を振り返る。 ・次時の予告	・他生徒のワークシートの内容を確認する。 →他生徒のワークシートを提示し、さまざまな意見に触れ、協働学習をする。 [ICT活用]	評価【関心・意欲・態度】 自分以外のさまざまな意見に触れ、本文の理解を深めようとしている。

(5) ICT活用計画

主にICTを活用するのは、展開の部分のうち小説の基本設定を確認する部分である。

- 1 「羅生門」の舞台や状況を記入するワークシートを、生徒へ配布機能で配布する。
 - 2 生徒は、ワークシートに沿って、各自調べる。
 - 3 調べた資料はノート上に保管しておく旨も伝える。(復習用)
- ※生徒には、EX-wordの便覧で手軽に当時の様子が調べられることを知ってもらう。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 EX-wordを副教材として活用することで、効率良く授業をすすめることができる。
- 2 課題の作成、配布から提出まで、ClassPad.net上で完結することができる。